

取組の概要

高齢者の閉じこもり防止、生きがいや健康づくり活動を行い、活気ある地域づくりを行うことを目的に、住民同士の交流の場として活動。年間計画に基づき、会食交流会や勉強会、季節ごとに七夕会や敬老会、ミニ運動会、忘年会等に取り組まれている。

グループについて

人数：10名
年齢層：70～90歳代
活動年数：22年3か月

取組の詳細

- 会員同士や地域との交流の場として、夏季を除きおおよそ月1回の頻度で活動している（年10回）
- 定期的な取組
 - ・会食：参加者全員で交流をしながら会食を実施。また外食交流会も実施されており、普段外食の機会が少ない参加者には非常に好評である。
 - ・勉強会：会員の持っている経験や知識等を活かし、会員自身が興味を持って調べたことを発表する機会を作ったり、会員から情報提供された脳トレ等を活動の中に取り入れている。また、外部講師として地域おこし協力隊（軽体操）や警察等の方々の講話も実施。
 - ・世代間交流：小学校児童との交流会（七夕時期一緒に七夕飾りづくり）、保育園児との交流会
 - ・古新聞でゴミ入れを作成し、希望に応じて病院や施設へ寄贈。
 - ・活動の最初に軽体操を取り入れることもあり健康づくりに努めている。
- 季節ごとの取組
 - ・七夕会、敬老会（民謡の会との交流）、忘年会、新年会、ミニ運動会など



<主体性>

・年度末に世話役で振り返りを行い、会員の意見を積極的に取り入れながら趣向を凝らした活動が展開されている。

<独自性>

・地元の小学校や保育園、地域のグループ等との交流を行っている。
・会員それぞれの経験や知識等を活かし、会員自身が調べたことを発表する機会を作ったりと会員にも役割を持ってもらう関わりもしている。

<地域貢献度>

・活動の中で作成したゴミ入れは希望に応じて病院や福祉施設等へ寄贈している。
・会員でなくても地域の人への参加を歓迎しており、地域の中の居場所の一つになっている。

<将来性>

・地域に住む高齢者だけでなく小学校や他グループ等とも繋がりを持つことができる貴重な場であり、閉じこもり予防や生きがいづくりに繋がっている。
・参加者の増加に向け、地区住民等への声かけ等を積極的に実施。

PR ポイント

- コロナ禍でも世話役の訪問による弁当の配食等で繋がりを持ち続け、R5.4月からは従来の活動を展開している。
- ボランティアも含めた全参加者の内男性が約4割を占めており、男性の参加者が多い。男性が参加しやすいよう、また会員が気軽に参加できるように会員の希望を取り入れた活動を行っている。
- 会員自身の考えやこれまでの経験・知識を活かし、会員一人一人に役割を持ってもらえるような活動を行っている。